

『Sophisticated Dog』 寸評

- ・スウィングというよりリズムカッチリのフュージョンよりのしあがり
- ・機能と声からはなれメロディ1音ごとにコードをつけたヴォイシングがフュージョンのスタイルをかんじさせる
- ・ピアノよりサクソソリ（5本くらい）のアンサンブルもあいそう
- ・ひねったタイトル オツときょうみをひく
- ・これまでの作品よりも作者の個性と声をききとれる

完成度をさらに上げるために

- ・ m.4はm.3 b.4からつづいてシ[#]のほうが自然につながるかんじ（m.5 b.1はdim7なのでシ^bでも問題ない）
- ・ m.9 左手の短6度がひくすぎてにごる
- ・ m.6-9 左手の上声のうごきをいかしつつもうすこし機能と声をつけた参考例



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

さらにこなれた感があります。

持魔 勉